



柴田町立船迫中学校

学校だより 第20号

令和2年3月25日

文責 教頭

そつ たく
啐 啄

啐は殻の中で雛が突つく音
啄は母鶏が殻を噛み破ること。
またと得難い良い時期を意味する。

第33回卒業式

64名の巣立ち



3月7日（土）に行われた第33回卒業式。当日は卒業生とその保護者、在校生は生徒会役員のみが参加の異例の式でしたが、どの生徒も晴れ晴れとした表情で卒業証書を受け取りました。在校生の感謝が述べられた送辞、3年間の思いがこめられた答辞。卒業記念合唱として「大地讃頌」「正解」のすばらしいハーモニー。最後に在校生からのビデオによる「旅立ちの日に」。手づくりの温かさと感動の中で、卒業式は終わりました。



送辞(上・・・在校生代表 紺野陽向さん)・答辞(下・・・卒業生代表 幕田里咲さん)より(抜粋)

迫中祭では、クラスごとにしっかり団結し、優勝を目指して競技に挑む先輩方の姿は、とても輝いて見えました。そのため、私たちも負けじと一生懸命になっていたことを思い出します。先輩方のおかげで迫中祭は盛り上がり、大成功を取めることができました。

そして、合唱コンクール。調和のとれた歌声を会場いっぱいに響かせる先輩方の歌声は圧巻でした。先輩方の歌声を聞いて心から感動するとともに、私たちも来年、先輩方のようになりたいと強く思いました。

新しく始まる学校生活、正直に言ってとても不安です。でも、それと同時に、『僕たちはなにより強い絆で結ばれている』そして共に歩んだ時間は、やがて『証』となり、辛いときに私たちを照らす道しるべとなってくれると確信しています。今振り返ってみれば、私たちの学校生活は答えの書かれていなかった「解答用紙」のようなものだったと感じています。何が正しいのか、『正解』は一人では分からなかったけれど、仲間と考え助け合って見つけてきた。そんな3年間でした。出してきた答えは全員違うと思いますが、それぞれ輝いていると思います。

終わりと始まりの今日。「さようなら船迫中学校」そして『新しい解答用紙に向かって、よーい、はじめ!!』以上をもって、答辞といたします。

校長式辞より(抜粋)

卒業される皆さんへはなむけの言葉を贈ります。

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」。江戸時代の米沢藩主、上杉鷹山の言葉です。意味は、「やらなければいけない時に、やる気を出してしっかりやるのが大切である」ということです。やる気も実力のうちです。「やればできる」などと言い訳せずに、とにかくやってみる。皆さんは、できる人というのは、何もしなくてもできるように思えるかも知れませんが、そんなことはありません。やるかやらないかはみなさん次第です。高校進学にあたり、やろうと思っていることを決めて実際にやってみてください。『やった人だけができる人になれる』のだと思います。自分の夢の実現のために、是非、試してみてください。

お世話になりました！お元気で！



メールでお知らせしたとおり、6名の先生方・職員が船迫中から新天地に行かれます。お世話になった6名からごあいさつの言葉をいただきましたので、紹介いたします。

どの学校にも負けない生徒たちの元気と笑顔、そして保護者の方々や地域の方々のご協力に支えられた2年間でした。今までの教師人生の中でも最も楽しく、また素晴らしい思い出がたくさんできたことに、とても感謝しています。少し遠くの吉田中学校への転勤となりますが、また顔を合わせる機会もあると思います。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。2年間、本当にありがとうございました。

教頭 島田 拓

早いもので、船迫中学校に来てから5年が過ぎました。様々なことがありましたが、そのひとつひとつが自分にとって良い思い出です。特にソフト部顧問としては、3年前から地区中総体で負け知らずで、5回も連続して県大会に連れて行ってもらえたのは、最高の思い出です。私も教員生活が残り少なくなってきました。宮中学校でも迫中で学んだことを生かし、自分らしく頑張ります。5年間ありがとうございました。

教諭 我妻 靖治

在校生と関わったのは実質1年間でしたが、とても充実した1年を過ごさせていただきました。朝、教室に入って「おはよう」と言い合える生徒がいて一緒に楽しく授業ができ、部活動で日々成長する姿を見ることができ、幸せな1年間でした。これも、生徒と保護者のみなさんのご協力のおかげだと考えています。兄姉の生徒との関わりを含め、5年間本当にありがとうございました。山元支援学校に行っても頑張ります。

教諭 大浪 千穂

船迫中学校に6年間、柴田町には、初任の頃から9年間お世話になりました。右も左も分からない1年目から、これまで多くの方々にていただき、今の私があります。これからは宮城教育大学附属中学校という仙台市の学校に行くので、柴田町に来ることは少なくなります。これまで学んだことを生かし、頑張ります。最後に6年という長い間支えてくださった保護者や地域の方々、共に楽しく生活してきた生徒のみなさん、本当にありがとうございました。

教諭 古内 利明

5年間勤務させていただき、大変お世話になりました。1年生とは、予餞会の発表で一緒に「Fステ」を大成功に収めることができ、とても嬉しかったです。3学期はもう少し一緒にいたかったです。今後、2年生は次の最高学年として、迫中を引っ張って行ってください。3年生は新たな場所で、自分の道を切り開いて行ってください。皆さんの活躍を、吉田中から応援しています。保護者の皆さま、様々な場面でご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

教諭 長沼 由香里

2年間という短い時間でしたが、いつも元気な生徒たちと温かい保護者の皆様に支えられて、とても充実した時間を過ごすことができました。4月から石巻北高校に転勤しますが、船迫中学校で学んだことや思い出を胸に頑張っていきたいと思います。直接会うことはほとんどできませんが、これからも船迫中学校の皆さんをずっと応援しています。2年間お世話になり、本当にありがとうございました。

講師 脇坂 浩明

4月の主な行事予定

4月 8日(水) 着任式・始業式・入学式
9日(木) 2・3年身体測定
10日(金) 1年身体測定 1年部活動開始
13日(月) 1・3年聴力検査 対面式
14日(火) 地区生徒会
15日(水) 開校記念日 2・3年教材販売
16日(木) 1年CRT検査 生徒個人写真撮影
17日(金) 1年仮入部

* 4月の部活動 17:45 終了 18:00 下校
部活動なし: 8日・15日・18日・21日
18日(土) 授業参観・PTA総会・学級懇談・学年PTA
20日(月) 振替休業日(4/18分)
21日(火) 職員会議
23日(木) 各種委員会
24日(金) 中央委員会
27日(月) 生徒集会 1年正式入部 部集会
28日(火) 町標準学力検査
29日(水) 昭和の日